

顯經王 勝一持三

仲經 勝一持一

季定 勝一持一

邦輔 勝一持一

懷經 勝一持一

懷松 勝一持二

智經 勝一持一

姓阿 勝一持三

中納言君 勝二持一

隆親 勝一持三

佐 勝一持一

廣盛 勝一持一

安心 勝一持一

祐盛僧 勝一持一

憲經 勝一持二

經尹 勝一持一

淨緣 勝一持三

索覺 勝一持一

三井寺新羅社哥合 兼安三年八月十五夜

題

遙見山花

古郷子規

湖上月

野宿雪

淡合友意

作者

左

中納言君 法性寺石蓋 法橋房

阿闍梨蓮忠 養濃 聖護院住

阿闍梨宗光 丹後 為盛息

右

小輔君 三井寺南院執行房住 教智律師房

阿闍梨泰光 泰尋法橋息

阿闍梨宗親 丹後 為盛息

肥後君智

養人君賢辰

常陸公長親

帥公信親 帥公 信平息

佐公良敏

大進君智暹

備前君親宗

出羽公長照

少將君智經 後忠息

淡路君忠勝

講師

佐公良敏

讀師

養人公賢辰

判者

從三位行皇太后宮大夫俊成

一番 遠見山也

左 務

中 納言君

うー聖山あくののちと多よのちと花の巻れよそめがらり
右

みーれあをちやう乃多のひーりあにちう海やむのタ
右 被安ん優よゆるめり但あこの控りしつちや
右 各家なりしむやうよばあらんを考あ山のととて
あにちうあふもらんあにちうあふもらんあにちうあ
ふとつちやほあてなくやあらんたのあにちうあ
あにちうあふもらんあにちうあふもらんあにちうあ

二番

あにちうあふもらんあにちうあふもらんあにちうあ
あにちうあふもらんあにちうあふもらんあにちうあ
あにちうあふもらんあにちうあふもらんあにちうあ

新羅上

五番

九お

賢居 善人

善風より吹りぬ〜

志

歌系 後修云

た〜

左の善風且零落峯雲不懸

ある事なきねと誇り〜

於混と〜

あ〜やあ〜ん

又おな〜

六番

九傷

乃 後 修 云

み〜

志

長照 善人

あ〜

な〜

とよ〜

回〜

ち〜

は〜

さ〜

つ〜

七番

九傷

佐 親 帥 公

う〜

志

智 理 公

胡之... 乃... 八番... 忠務... 敏... 忠務... 敏...

八番

忠務 敏

忠務 敏

忠務... 敏... 忠務... 敏... 忠務... 敏...

忠務... 敏...

九番 古上郭

忠務 敏

忠務 敏

忠務... 敏... 忠務... 敏... 忠務... 敏...

十番

左お

ほろろとてよあつた心とて人の位あつても

右

恭賀

いふとあつたやうにたゞとてはのうまはあらん
い番とては優よとてあつたれ各古のうまはあらん彼
箕子之作ま秀詩周大夫之成恭離章とていふ
あつたつとて古とあつた出也とていふとて
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとて又あつた

十一番

左

御

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと

右務

親言

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
たのうまはあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと

十二番

左お

御智

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと

右

御智

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと
あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつと

十三番

右勝

賢辰

思ふあわれも人なりとわらふあわれも志りかきとわらふ
歌

浅草生のこころよきなりと子親あはれもむしやあはれりつらん

たきくれをいそぐとていそぐとていそぐとていそぐとていそぐ

あはれあはれとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

そのあはれもいそぐとていそぐとていそぐとていそぐとていそぐ

ゆるらんをいそぐとていそぐとていそぐとていそぐとていそぐ

とやあはれもいそぐとていそぐとていそぐとていそぐとていそぐ

とくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

十四番

右勝

道禪

あはれあはれとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

右長照

とくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

二首乃郭とくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

優よとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

とくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

十五番

右勝

左款

すんちちり一里のち一里のち一里のち一里のち一里のち一里のち

右智徳

あまのささる宿の積よほくたは誰をあそとそあまのささる

十六 左音郷里跡已夏山鳥聲獨新とつる心海優

よんちとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつらとくつら

みねりあろしよのやとそやのたの務あはし

十六番

左務

右務

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

右

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

十七番 湖上月

左務

中納言君

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

右

少輔公

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

十八番

左お

蓮忠

あまのりあろしよのやとそやのたの務あはし

右

恭亮

さつり海を... 志が浦は釣漁の... ちら... 持とみ...
十九番

左持

證兼

右

親實

月影の... 左持... 右持... ちの...
二十番

二十番

左持

田舎

あ... 右 智

あ... 事... ち...

二十一番

九

賢展

うねり海らうりしり浦しり海はらうりしり月乾

右揚

智燈

あつたや志がの海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
故實のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
新羅の海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
釣漁のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより

二十二番

智燈

左揚

あつたや志がの海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
故實のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
新羅の海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
釣漁のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより

智燈

月乾とみまの海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
故實のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
新羅の海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
釣漁のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより

二十三番

左揚

信親

あつたや志がの海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
故實のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
新羅の海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
釣漁のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより

右

智燈

あつたや志がの海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
故實のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
新羅の海はらうりしり月乾
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより
釣漁のいあさよりいあさよりいあさよりいあさより
いあさよりいあさよりいあさよりいあさより

うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれ
し御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし

二十回番

左お

心敏

うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし

右

心勝

うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし

サキ番 野宿雪

左持

中細言書

うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし

右

心勝

うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし
うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし

二十六番

左お

心勝

うきうきと目撃するは我が國の御事なりとて御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし御座り候はれし

右

心勝

あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく
た名のしーとをく屋とやと聖業は神に名已同科
無差別猶為持

二十七番

右 務

徳兼

きつとて右聖乃移るの務ひしそまをさつとつありたれ

左

親光

あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく
た乃右聖のまひのありたれまをさつとつありたれ
きつとて右聖乃移るの務ひしそまをさつとつありたれ
あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく
はじとも移る乃屋よ目教とつしん事つたれ
右聖乃移る乃屋よ目教とつしん事つたれ

二十八番

左

的智

あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく

右 務

知光

あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく
あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく
あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく
あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく

二十九番

右 お

賢辰

あつりおまふま業ありうをききしと家しん屋よきまをほく

左

親光

所羅士

下

あまのついでに... 三十一番

左

道禪

右

長照

あまのついでに... 三十一番

左

信親

右

知子

あまのついでに... 三十二番

左

良敏

唐の如くは...

三十一

七

おもしろきもの...

三十三番 談合友意

九

申納言公

おもしろきと...

三十一

少捕公

おもしろきと...

三十四番

九

七

おもしろきと...

七

七

おもしろきと...

三十五番

九

七

おもしろきと...

七

七

おもしろきと...

及衆徒之高聞已可為今生名譽後世資糧也但愚判之趣定不可衆心信然此條聊畏申之由可然之樣可令披露給候也頓首敬白

十一月五日

皇后宮大夫俊成

謹上 石藏法橋御房

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

勝負

左

中納言君 務二員一持二

少輔公 務一員二持二

蓮忠 員一持二

泰光 務一員一持二

證兼 務一員二持二

親實 務二員一持二

明智 員一持二

智暹 務一員一持二

賢辰 務一員一持三

觀宗 務一員一持三

道禪 務一員二持二

長照 務二員一持二

信親 務三員一持一

智經 務一員三持一

良敏 務三員一持一

忠勝 務一員三持一

身

新羅

身

新羅

身

計

新羅

計

新羅

計

新

新羅

新

新羅

新

智

新羅

智

新羅

智

即

新羅

即

新羅

即

新

新羅

新

新羅

新

新

新羅

新

新羅

新

中

新羅

中

新羅

中

式

新

